

資料 3

用語集

掲載頁	用語	説明
3	CGA	(Comprehensive Geriatric Assessment : 高齢者総合機能評価) 高齢者に対し医療面、身体機能面、精神面、社会面等の諸側面から一定の基準・様式に従って行う総合的な機能評価
3	オーダーメイド医療	遺伝子情報を活用して個人の体質の違いを解析し、それぞれに応じた医薬品や治療法を選ぶ手法のこと。がんなどの治療に活用が期待されている。
4	老化ゲノム	身体的设计図ともいう遺伝子の総数は約2万2千と推定され、その総称をゲノムと呼んでいる。 ヒトゲノムの全遺伝子配列(DNA配列)が決定されたが、それぞれの遺伝子の働き(機能)の解明は終了していない。 ゲノム中に存在すると考えられる老化・老年病に関連する遺伝子を総称して老化ゲノムと呼んでおり、これらを同定し、機能を解析することが「老化ゲノムの解明」である。
10	高齢者ブレインバンク	老化に伴う神経疾患の克服を目的に、ヒト脳研究のための資源蓄積と、その提供を行う機能ユニットの総称である。 具体的には、篤志で献じられた病理標本及び凍結脳等から構成されており、老人総合研究所と老人医療センターの共同運営である。 バンクが有する貴重な研究資源を活用し、疾患特異的分子の発見や遺伝子発現の解析を通じて、発症原因解明や診断法開発に貢献する。
10	ポジトロン施設	本施設は、ポジトロン放出断層撮影法(Positron Emission Tomographyの頭文字をとってPETと省略)を用いて老化と老人病の研究を進め、かつ患者のために先進的な臨床診断法を提供するための施設である。
10	物忘れ外来	もの忘れのことが気になる人、認知症が心配な人を対象に、認知機能に関する総合的な評価・診断を行い、必要であればその後の治療につなげるための専門外来。老人医療センターにおいては平成11年1月に開設。
10	オーダーメイド医療実現化プロジェクト	文部科学省が平成15年から開始した5年計画のプロジェクト。バイオバンクへ約30万人のDNA(遺伝子)および臨床情報等を集め、遺伝子と疾患、薬剤の効果、薬剤の副作用発現などとの関係を明らかにし、個々の人の遺伝的背景を考慮したオーダーメイド医療を実現を目指す。

用語集

掲載頁	用語	説明
12	病診連携	<p>高度・高額な医療設備、専門性の高い医療技術、入院機能をもつ「病院」と患者の身近な地域の診療所（医院等）とが役割分担をし、互いの長所を生かして、患者の症状に応じた適切な医療を連携しつつ提供する体制。医療資源を効率的・合理的に活用し、患者にも負担の少ない医療提供体制の確立を図ることが病診連携の目的。</p>
12	病病連携	<p>病院同士が互いに連携・協力し、専門性や救急医療機能を補完し合いながら、患者の病態に合った入院治療機能を効率的に提供する体制。</p>
12	血管再生医療	<p>血管のもととなる内皮前駆細胞という特殊な細胞を移植することにより、傷んだ血管を再生させる治療法（老人医療センターにおいては、平成16年から末梢血中の血管内皮前駆細胞を使い、閉塞性動脈硬化症に対する血管再生治療を実施している）。</p>
12	幹細胞移植療法	<p>骨髄や末梢血中に存在する組織や臓器のもととなる細胞（幹細胞）を移植して、当該組織等を再生させる治療法（老人医療センターでは、平成18年度から血液悪性疾患の治療に本療法を実施している）。</p>
12	トランスレーショナルリサーチ	<p>基礎研究分野の成果を臨床医学などへ応用、実用化する段階で生じる諸問題の解決を目指した研究。効率的なトランスレーショナルリサーチの実施により基礎研究分野の成果の実用化を早めることができる。</p>
13	低侵襲治療	<p>最新のテクノロジーの成果を取り入れ患者の身体的な負担を大きく軽減しつつ、同時に既存の身体的負担の多い方法と同様の成果が得られるように工夫された方法で実施する治療。ステントによる大動脈瘤治療、内視鏡や腹腔鏡による非開腹手術などがある。</p>
13	クリニカルパス	<p>医療の標準化、インフォームドコンセントの徹底を目指して、検査・処置・看護ケアなどの過程を時系列的にあらかじめ一覧にし実施する医療。情報の共有化により医療事故防止を図れるばかりでなく、「どの過程に資源を投入し、どの過程を短縮すれば効率的かつ良質な医療提供ができるか」が解析でき医療の質の向上にもつながる。</p>
13	エキスパートナース	<p>特定専門領域の知識・技術を理論的、実践的に学習し、臨床における質の高い看護実践と指導的役割を果たす看護師。</p>